横浜市阿久和小学校
Akuwa elementary school in Yokohama city

学校だより

令和６年１月３１日
校長　荒井　智津子

２月号

学校教育目標　「みんなかがやけあくわっ子」
～自分らしく輝く子の育成をめざして～　夢の実現に向かって行動する子
あいさつから輪を広げる子　くふうして学び続ける子　わたしもあなたも命を大切にする子

「２月の最終水曜日は？」

副校長　小西　隆一郎

「鬼は外！福は内！」２月３日は節分の日です。その翌日、立春は旧暦では新たな年の始まりを表すことから、節分はさしずめ大晦日。豆をまいて１年の厄（鬼）を払い、新しい年を迎えたいところです。

さて、表題にもありますが、２月の最終水曜日は何の日かご存じでしょうか？

物語の始まりはカナダ・バンクーバー。ピンクのシャツを着て登校した男子生徒がからかわれ、いじめにあいました。それを知った上級生が「僕らもピンクのシャツを着ていじめストップを！」との呼びかけにより、賛同した多くの生徒がピンクのシャツや小物を身に着けて登校したことで、学校中がピンク色に染まり、「いじめ」がなくなったそうです。

これがカナダ全土から世界中に広がり、２月の最終水曜日（今年は２８日）を「ピンクシャツデー」と宣言しました。現在では約１８０以上の国や地域でのワールドアクションとなっており、神奈川県でもこの２月をピンクシャツデー月間としていじめ防止の取組を進めています。

2022 年度の横浜市の公立小学校のいじめ認知件数は前年比 3860 件増（62.6%）の１万 28 件。そのうち、このような「冷やかしやからかい、嫌なことを言われる」が多く全体の半数以上を占めています。

「ピンクシャツデー」の取組は、一人ひとりの個性を大切にし、お互いを尊重しながら生活することのヒントが込められています。「みんなちがって、みんないい」。「ピンクシャツデー」をきっかけに、もう一度、普段の生活を振り返り、「いじめ」をなくす意識を高めたいです。子どもでも、大人でも、学校や職場や地域で、悩んだ人が一人で抱え込まなくてもいい社会になっていけたらと思います。